

第7章 リーディングプロジェクト

第1節 設定の考え方

本計画で、リーディングプロジェクトは、温室効果ガス削減目標の達成に向けて、行政・市民・事業者の協働の下に、先導する重点的に取り組まれるべきプロジェクトと位置付けます。

リーディングプロジェクトを設定するにあたっては、以下に示す5つの視点を用いています。

【リーディングプロジェクト設定に関する5つの視点】

- ・本市における地球温暖化対策を推進していく上で、取り組む重要度や優先度が高いもの
- ・本市として新たに取り組む事業等、本市の取組として先進性があるもの
- ・市の将来環境像の実現に向けた取組を牽引し、計画の着実な推進につながるもの
- ・行政、市民・市民団体、事業者等が参画でき、様々な主体の協働性を育めるもの
- ・一時的・限定的な取組効果ではなく、継続的な波及効果や、取組の水平展開が期待されるもの

第2節 リーディングプロジェクトの設定

リーディングプロジェクトと関連する基本方針は以下のとおりです。

リーディングプロジェクト	関連する基本方針
エネルギー地産地消プロジェクト	再生可能エネルギーの創出、低炭素まちづくりの推進
省エネルギー推進プロジェクト	省エネルギー対策の推進

第3節 リーディングプロジェクトの内容

3-1 エネルギー地産地消プロジェクト

①プロジェクトの目的

市域における再生可能エネルギーと蓄電池の普及促進に取り組むとともに、蓄電池としても活用できる次世代自動車の導入と再生可能エネルギーによる充電設備を併せて導入することで、エネルギーの地産地消を目指します。

また、自家消費型の太陽光発電システムと蓄電池を併せて活用することで、発電した電力を効率的に利用できるだけでなく、災害時に独立したエネルギー源としての役割を担うこともできます。

②取組内容

主体	主な取組
市	<ul style="list-style-type: none">● 太陽光発電設備の普及推進<ul style="list-style-type: none">・ 公共施設、遊休地への率先的導入・ 家庭、住宅団地、事業所等への導入拡大● バイオマス資源の地域内活用の推進● 自立・分散型エネルギー設備の導入支援<ul style="list-style-type: none">・ 太陽光発電設備及び蓄電池等の公共施設等の防災拠点施設への率先的導入・ 蓄電池を導入する市民または事業者を支援● 次世代自動車（EV・FCV等）の普及推進<ul style="list-style-type: none">・ 次世代自動車の導入推進・ 再生可能エネルギーによる充電設備の整備
市民	<ul style="list-style-type: none">・ 環境に関する学習会やセミナーに積極的に参加し、再生可能エネルギーに関する理解を深める・ 太陽光発電設備などの再生可能エネルギー機器、蓄電池、電気自動車等充電設備（V2H）、家庭用燃料電池システムなどの導入検討・ 再生可能エネルギー由来の電力の選択を検討・ 住宅を新築する時は、ZEHを検討
事業者	<ul style="list-style-type: none">・ 環境に関する学習会やセミナーに積極的に参加し、再生可能エネルギーに関する理解を深める・ 太陽光発電設備などの再生可能エネルギー機器、蓄電池、電気自動車等充電設備（V2H）などの導入や活用を検討・ 再生可能エネルギー由来の電力の選択を検討・ 事業所のZEB化を検討

③取組により期待される効果

環境	社会・経済
<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂の排出抑制による地球温暖化の緩和 ・気候変動に伴う日常生活や生態系などへの影響の回避・軽減 ・大気汚染物質の排出削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの自立分散化 ・災害時におけるエネルギー供給の確保 ・ライフスタイルやビジネススタイルの変化に伴う地域経済の発展 ・環境に配慮された交通体系の整備による快適で住み良いまちづくりの実現 ・地域のエネルギー資源有効活用 ・EV等による災害時の電源確保

④成果指標

指標	実績		目標	
	直近年度	実績値	目標年度	目標値
公共施設(土地含む)における再生可能エネルギーの設置箇所数(自家消費)	令和4	19箇所	令和12	25箇所
防災拠点及び指定避難所等における自立・分散型エネルギーシステム導入数	令和2	17施設	令和12	30施設
公用車の次世代自動車導入台数割合	令和2	0%	令和12	10%